

■「専門家による講座」今後の開催予定

◆プレゼンテーション講座

見せる・聴かせる・惹きつける プレゼンテーション実践講座

日 時▷平成29年1月21日(土) 13:30~16:30

会 場▷千葉市民活動支援センター会議室

講 師▷三谷新太郎氏(三谷教育研究所 代表)

定 員▷25名 参加費▷無料

◆コミュニティカフェ講座

本がつなぐコミュニティカフェづくりスタートアップ講座

日 時▷平成29年1月29日(日) 13:30~15:30

会 場▷千葉市民活動支援センター会議室

講 師▷佐藤紘孝氏

(NPO法人おやかカフェ 代表理事)

定 員▷25名 参加費▷無料

■「はじめてのブログづくり講座」

—CANPANブログをマスターして助成金もゲット!—

基本情報を公益事業コミュニティサイト「CANPAN」に登録し、無料でブログを作ることができます。活動を市民・企業に広く知ってもらい、団体の信用度アップが期待できます。2回連続講座。初回の1月17日の講師は、日本財団CANPANの吉野真佐代さんです。

日 時▷平成29年1月17日(火)・24日(火)
いずれも13:30~16:30

参加費▷無料

定 員▷6団体(先着順、1団体複数名での参加可)

会 場▷千葉市民活動支援センター会議室

対 象▷市民活動団体、NPO法人

*本講座に参加される方は、事前にCANPANにユーザー

登録が必要な為、個別に指導いたします。(団体の基本情報をご用意ください。)

■こんなに多彩「ちばさぽセミナー」

登録団体が、センターを会場として実施する講座やイベントを、会場の優先予約やPRの協力等で側面から支援する「ちばさぽセミナー」。今年は10団体が手を挙げました。

「日本シニアインターネット支援協会」「生ごみダンボ」「社会保険労務士・ちば」は個別相談。「シニアサポートの会 びわの実」は、シニアの心配事に答える講座です。「日本カイロプラクティック教育諮問委員会」「リベルタちば」「国際ヒーリング看護協会」の健康関連は今年も人気。「SNCシニア自然楽校ちば」は、実際に森にも出かけました。「はじめての水墨画講座」「ピアノのチカラ」「まな・カフェ」は、“できた!”の実感が得られるのが魅力です。これから実施される企画もあります。気軽に参加してみては?



【本ページに記載の講座お申込み方法】

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TEL、来所にて、以下の項目をお知らせください。

①参加を希望する講座等の名称・日時、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

ミニコラム

ちばさぽの風 vol.16

大学と地域が連携して ～地域を元気にするアプリをつくろう～

千葉大学カレッジリンクの講座「地域を元気にするアプリをつくろう」(2016年6月~9月の4回開催)に参加した。集まったのは、千葉大や他大学の学生、企業人、起業しようとしている人など。「カレッジリンク・プログラム」とは、大学と地域が連携し、年齢にかかわらず、大学で共に学び合う機会を作る学習プログラムである。市民団体がもっと参加してもいいプログラムかもしれない。

主旨は、サイボウズ社のkintoneの使い方を学び、机上で地域課題を解決しようというもの。例えば、「郊外コミュニティの課題を考える」では、サイボウズが使っている「課題解決メソッド」を使って、話し合いをすすめた。私たちのグループは、高齢化している郊外で、困っている問題を考え、買物難民のための移動販売車の動きを知らせるアプリを作った。商店がお金を出し合い、生鮮などを含めた日用品の販売車があったら、買物難民は減少するのではないか、と考えた。他のグループでは、団地の空き部屋を使って「民間図書館」をつくり、そのデータを入れるアプリを作った。団地の空き部屋解消だけでなく、Book Caféの

ようにして、さらに交流の場などをつくれれば、高齢者の居場所、安否確認などにもならないだろうか。

「アニメで地域おこしを目指す」では、成功事例が紹介された。1つは、鳥取県境港市の「水木しげるロード」で、商店街の歩道に妖怪のオブジェがつけられ、「ゲゲゲの女房」のTV放映をきっかけに年間200万人の観光客が来訪した。失敗例もあまた。私たちは、「少年陰陽師」を主人公に、千葉の地域資源の城や名所を利用したアニメと一緒に考えるアプリを作成。他のグループでは、「ルパン3世」の作者、モンキー・パンチが佐倉市出身であることを利用して、空き家に「ルパン3世」ミュージアムをつくり、人を呼び込もうという趣向。実際に、佐倉市に売り込んだらと思ったほどだ。多様な人が集まると、こんなに様々な面白いアイデアが出るものだと感じた講座であった。(す)

